

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月10日(金)



いつも、いつでも、いつまでも。
福井銀行



ゆめBANK
福邦銀行

1. 2024年3月期決算概要	・・・ 3頁
2. 中期経営計画 I の取組みと進捗状況	・・・ 15頁
3. サステナビリティへの取組み	・・・ 29頁

- ※1 上記の取組みについて、主なものを抜粋しお伝えいたします
2024年7月発刊予定の統合報告書「FUKUI BANK REPORT 2024」において
より全体的な開示を行います(本日の資料も含め福井銀行のホームページに掲載いたします)
- ※2 株式会社福邦銀行との経営統合の内容およびその効果等に関しては本日別途作成・配布しております
「福井銀行と福邦銀行の経営統合について(株式交換契約の締結に関するお知らせ)」にて説明いたします
- ※3 東京証券取引所からの2023年3月31日付「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」
「株主との対話の推進と開示について」への取組みについては本日別途作成・配布しております
「経営統合による地域価値と企業価値の向上に向けて」にて説明いたします

1. 2024年3月期 決算概要

*F*プロジェクト
Future for Fukui &
Fukuibank & Fukuohbank



いつも、いつでも、いつまでも。
福井銀行



ゆめBANK
福邦銀行

	Fプロジェクト 【連結】	福井銀行 【単体】	福邦銀行 【単体】
コア業務純益 (除く投信解約損益)		40.6 億円 前年度比 Δ2.7 億円 ↓	6.6 億円 前年度比 +4.0 億円 ↑
経常利益	56.1 億円 前年度比 +48.2 億円 ↑	43.3 億円 前年度比 +16.7 億円 ↑	10.9 億円 前年度比 +34.7 億円 ↑
当期純利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 37.1 億円 前年度比 +19.1 億円 ↑	30.1 億円 前年度比 +0.5 億円 ↑	9.1 億円 前年度比 +35.3 億円 ↑
概 要	➢ グループ一体となって、お客さまの課題「発見」「解決」支援や資金繰り支援に注力したことにより、貸出金利息及びコンサルティングによる役務収益が増加	➢ 貸出金利息やコンサルティングによる役務収益等の本業収益が着実に増加 ➢ 野村証券との提携に伴う先行投資(初期費用)等で物件費は増加 ➢ 与信コストは当初計画の範囲内	➢ 福井銀行への運用一本化により有価証券利息配当金が減少するも、中小企業向け貸出の順調な伸びで貸出金利息が増加し本業改善 ➢ 経常利益・当期純利益ともに3期ぶりに黒字転換

【福井銀行】コア業務純益(除く投信解約損益)

福井銀行【単体】

コア業務純益 (除く投信解約損益)

(除く投信解約損益)

40.6億円

前年度比

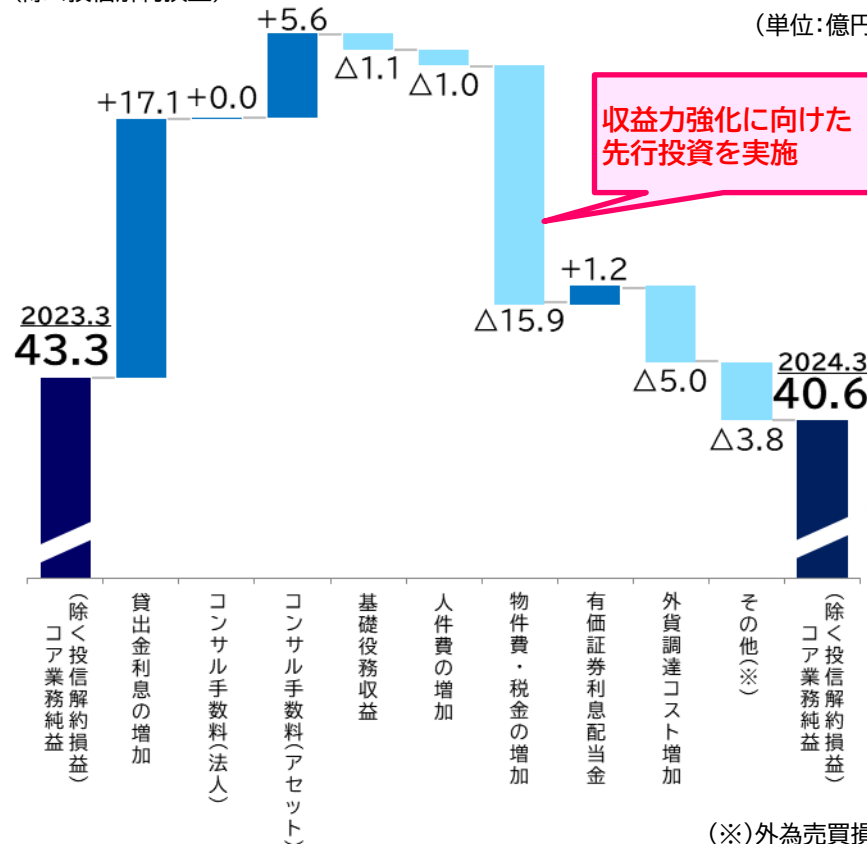
△2.7億円 ↓

- ✓ 当初計画のとおり物件費増加したが
本業の貸出金利息が大幅に増加
- ✓ 野村証券との提携(コンサル手数料(アセット))
は順調なスタート

コア業務純益の増減要因 (除く投信解約損益)

(除く投信解約損益)

(単位:億円)



【福邦銀行】コア業務純益(除く投信解約損益)

福邦銀行【単体】

コア業務純益
(除く投信解約損益)

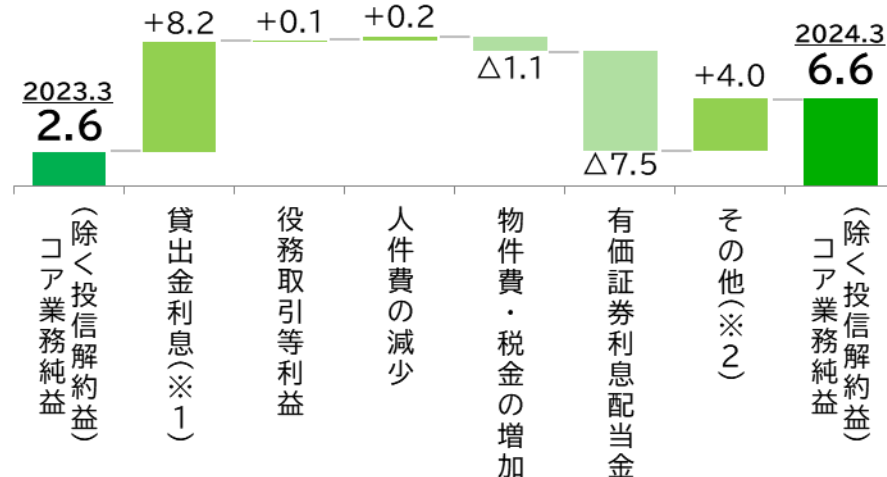
6.6億円

前年度比

+4.0億円↑

コア業務純益の増減要因
(除く投信解約損益)

(単位:億円)



- ✓ 強みである中小企業向け貸出金利息が増加
- ✓ 有価証券運用を福井銀行に一本化

(※1)親会社向け貸付金利息(4.9億円)を含む(※2)有価証券関連損益等

福井銀行【単体】

貸出金利息

182.9億円

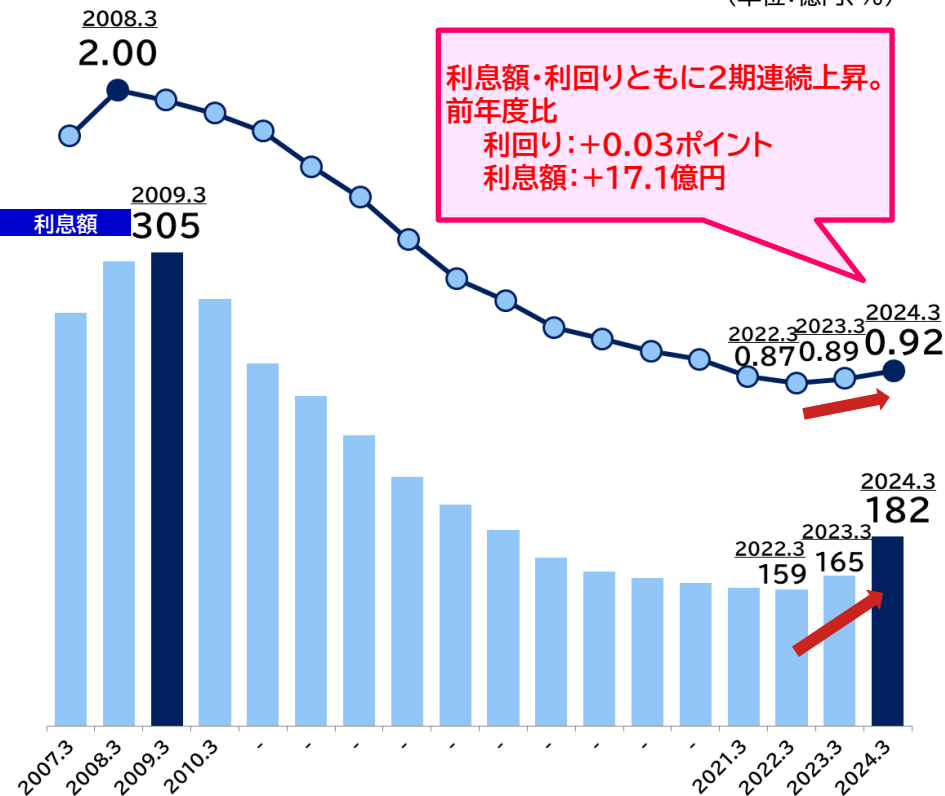
前年度比

+17.1億円↑

✓北陸三県はじめ貸出金増加・利回り上昇

利回り

(単位:億円、%)



福邦銀行【単体】

貸出金利息

51.3億円

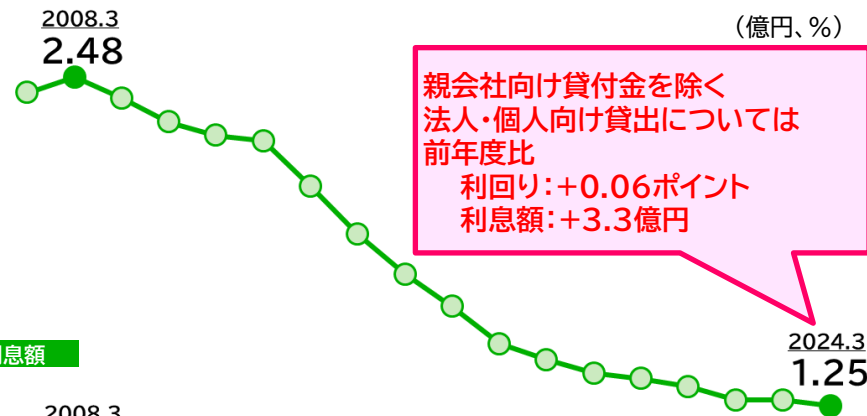
前年度比

+8.2億円↑

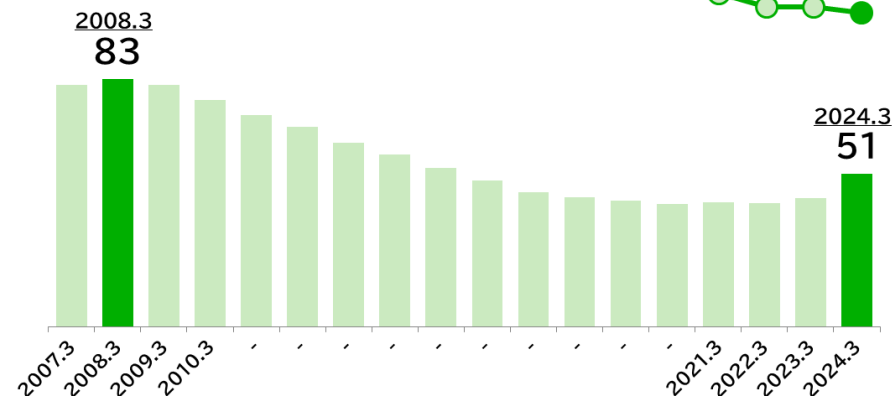
(※)親会社向け貸付金利息(4.9億円)を含む

✓ 中小企業向け貸出金利息が順調に増加

利回り



利息額



(※)親会社向け貸付金利息(4.9億円)を含む

役務取引等利益

福井銀行【単体】

福邦銀行【単体】

役務取引等利益 前年度比

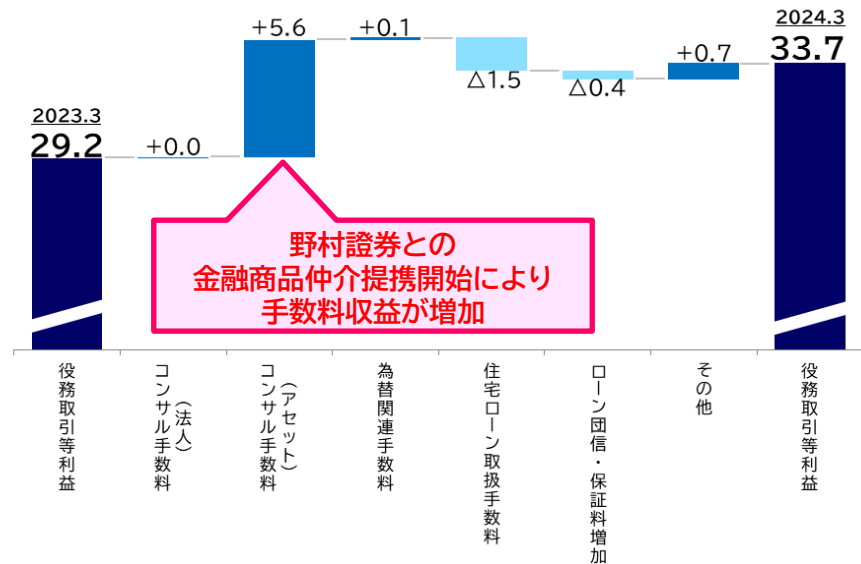
33.7億円 +4.5億円↑

役務取引等利益 前年度比

2.7億円 +0.1億円↑

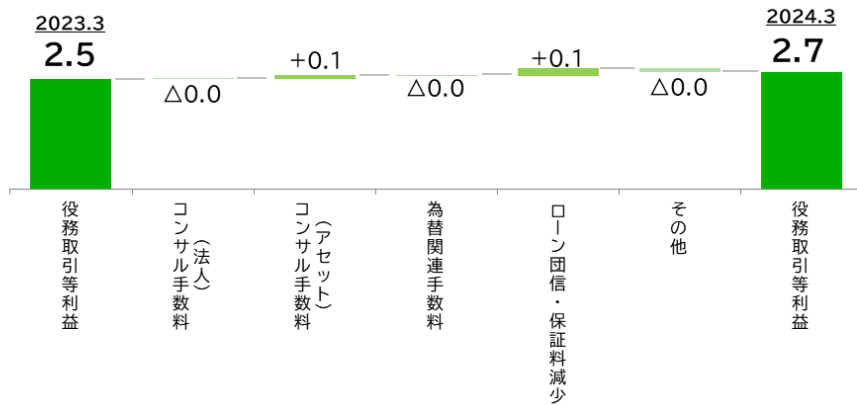
役務取引等利益の増減要因

(単位:億円)

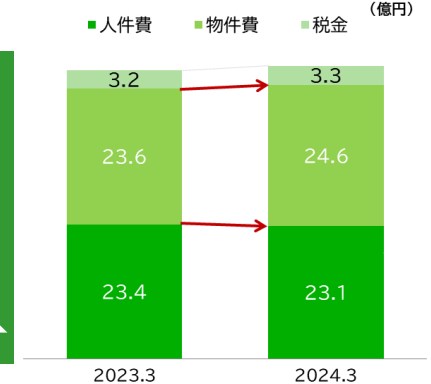
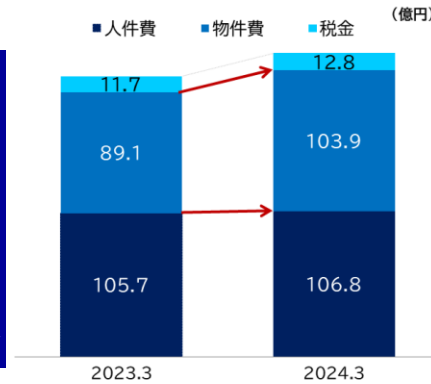


役務取引等利益の増減要因

(単位:億円)



経費



中長期的な収益力増強に向けた先行投資を実施

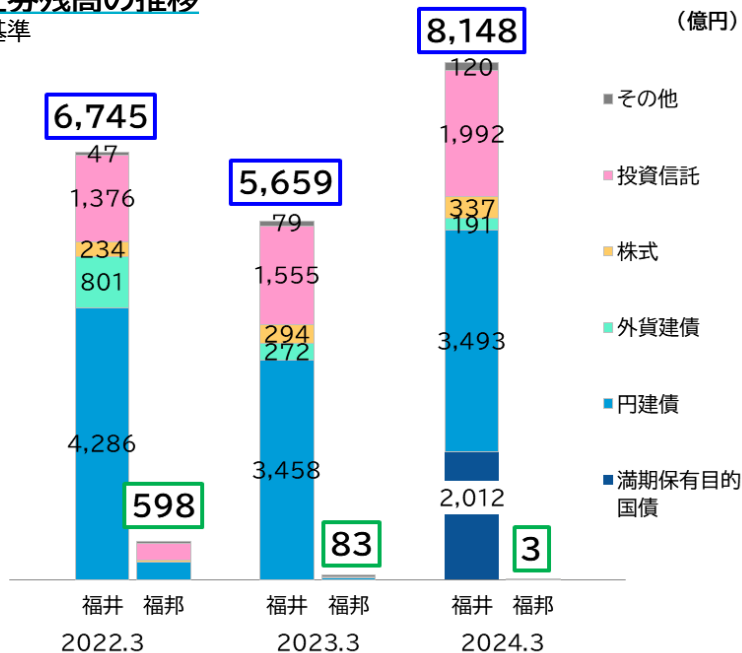


有価証券

有価証券運用一本化とリスクコントロールを重視したポートフォリオ構築

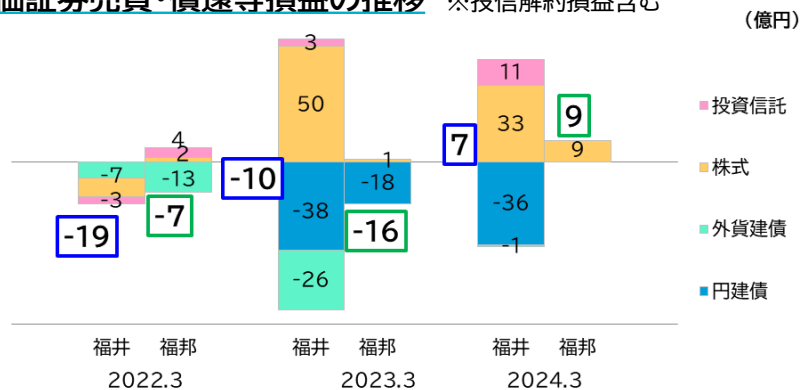
有価証券残高の推移

※簿価基準



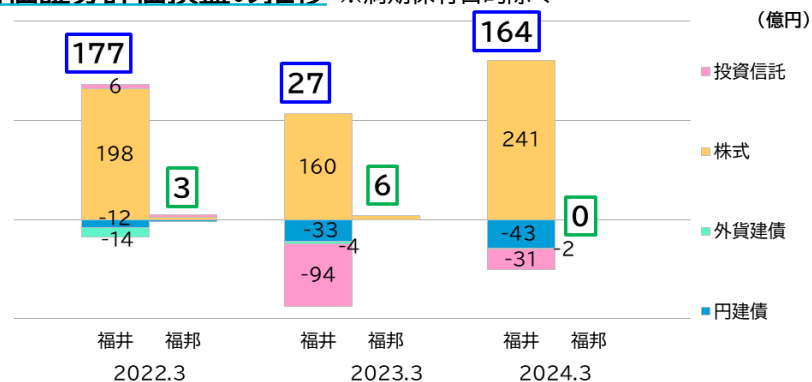
有価証券売買・償還等損益の推移

※投信解約損益含む



有価証券評価損益の推移

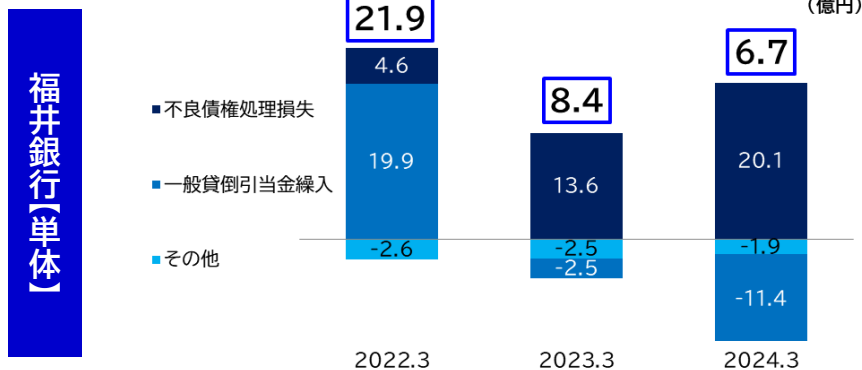
※満期保有目的除く



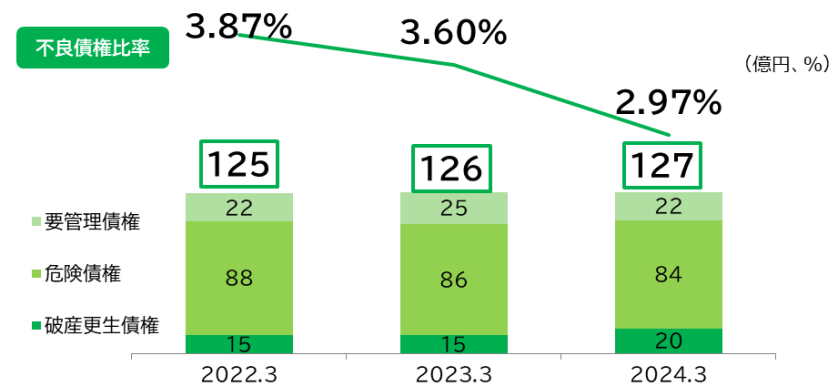
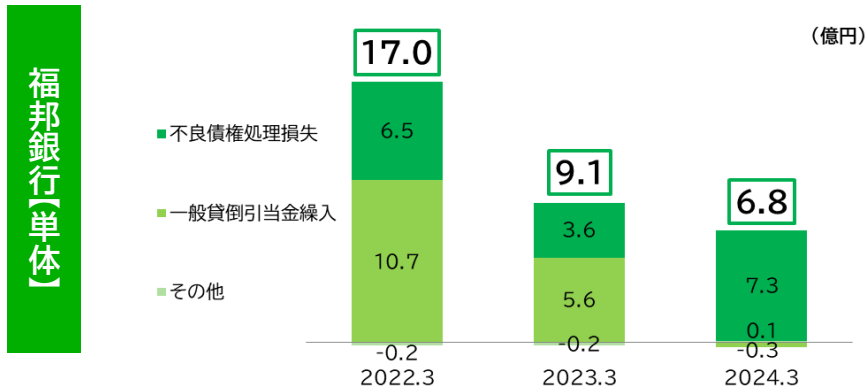
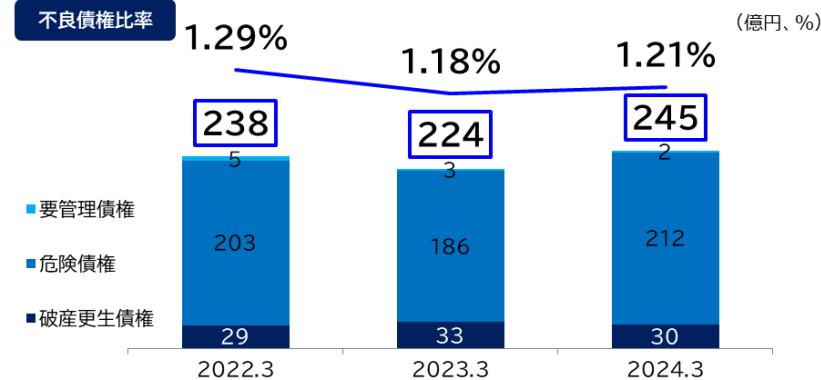
- ✓ Fプロジェクトの財務基盤強化及び経営効率化に向け、グループ全体の有価証券運用を福井銀行に一本化
- ✓ ALM(資産負債全体)での金利リスクコントロールの観点から、流動性を考慮しつつ、満期保有債券を積上げ

与信コストの発生は当初計画の範囲内

与信コストの推移



不良債権の状況



2024年3月期実績

連結当期純利益
(※)

2025年3月期目標
40億円 以上

37.1 億円
(目標進捗率: 92.9%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

2024年3月末実績

連結自己資本比率

2025年3月末目標
7.0% 以上

7.41%
(目標比: +0.41ポイント)

2024年3月期実績

連結コアOHR

2025年3月期目標
77.0% 以下

80.1%
(目標比: 3.1ポイント未達)

2024年3月期実績

連結ROE

2025年3月期目標
3.0% 以上

2.87%
(目標比: △0.13ポイント)

業績予想(2025年3月期)

中期経営計画Iにおける連結当期純利益(※)目標:40億円を達成見込み

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

Fプロジェクト【連結】

(単位:億円)

	2024年3月期 (実績)	Fプロジェクト【連結】 (予想)	2024.3比
業務粗利益	328.2	370.0	+41.7
経常利益	56.1	59.0	+2.8
当期純利益(※)	37.1	40.0	+2.8

※親会社株主に帰属する当期純利益

福井銀行【単体】

(単位:億円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	2024.3比
業務粗利益	233.4	285.0	+51.5
コア業務純益	50.5	56.0	+5.4
経常利益	43.3	54.0	+10.6
当期純利益	30.1	35.0	+4.8

【ポイント】

- 貸出金利息・コンサルティング収益等の本業収益は引き続き順調に推移
- 経営統合に向け両行のシステム投資を中心とした物件費増加を計画
- 連結当期純利益は中期経営計画 I に掲げた KPI(40億円)を達成見込み

2. 中期経営計画 I の取組み と進捗状況

- ※1 取組みについて主なものを抜粋しお伝えいたします
- ※2 本日(2024年5月10日)同時に発表しております
「福井銀行と福邦銀行の経営統合について
(株式交換契約の締結に関するお知らせ)」
とも関連するものですので、あわせてご高覧願います
- ※3 2024年7月発刊予定の統合報告書
「FUKUI BANK REPORT 2024」において
より全体的な開示を行います

*F*プロジェクト
Future for Fukui&
Fukuibank&Fukuhobank



いつも、いつでも、いつまでも。
福井銀行



ゆめBANK
福邦銀行

中期経営計画 I の位置づけ ～公表資料より再掲～

「Fプロジェクト Vision 2032」の第 I フェーズとして、
スタートダッシュを切る3年間と位置付けます。

ウェルビーイング戦術

役職員にウェルビーイングの考え方や取組みを浸透させる3年間とします。

コンサルティング戦術

地域・法人・個人のお客さまに、伴走型のコンサルティングを浸透させる3年間とします。

ユーザビリティ戦術

デジタル投資の加速と店舗・ATMの縮小により、ヒト×デジタルのハイブリッド体制をつくる3年間とします。

ファンダメンタル戦術

資金運用の多様化を進め、事業活動の原資となる資金運用収益の基盤を確立する3年間とします。

機能別戦術

経営資源のメリハリある配賦を実行し、上記3戦術が確実に実行される体制を構築します。



Fプロジェクト Vision 2032

2022.4 - 2025.3

中期経営計画I

2025.4 - 2028.3

中期経営計画II

2028.4 - 2032.3

中期経営計画III

注)

次ページ以降、左上に記載の戦術の順番で戦術ごとの主な取組みをお伝えします

各スライド中の **KPI** は 中期経営計画 I におけるKPIであり、28頁にて一覧掲示しています

▶ サステナビリティの取組み34、35頁に関連記載がございます。

4つのファクターに分け双方向の対話を積み重ねながら取組み実施中

理念・方針

理念・方針への理解が深まり、共感して行動につなげる

- 理念教育の継続
- タウンホールミーティングの開催
- インナープロモーションの強化

組織・風土

心理的安全性が高まり、チャレンジが生まれる組織・風土を構築

- マネジメント改革の継続
- ダイバーシティの推進
- 1on1ミーティングの定着

環境・処遇

いきいきと働ける環境や納得性の高い処遇を実現

- 人事制度の定着
- 健康経営の強化
- 働き方改革の進化
- 初任給の引き上げ

意欲・成長

働きがいが高まり、高い目標へのチャレンジを通じて成長を実感する

- 考え方教育の開始
- キャリアプランの形成の支援
- リスキリングの強化



タウンホールミーティング



鷲頭副知事との交流会



はせチャンネル

開業以前から長期にわたり、ハード・ソフト両面での支援を実施

まちづくり支援

北陸新幹線の福井・敦賀開業に向けて、
新幹線駅周辺のまちづくりをサポート。

福井駅 福井駅前電車通り北地区A街区



再開発事業の
立ち上げ、事務局
の運営など
これまで8年支援

芦原温泉駅



「まちづくり協議会」
の運営事務を受託。
ホテル事業者の進出
を中心的に支援

越前たけふ駅

敦賀駅 敦賀駅西土地活用事業



選定された事業者
(SPC)に対し、資金面
や事業者紹介を通じ
強力に伴走支援

各駅の写真
提供：JRTT鉄道・運輸機構

北陸新幹線W7系
1000番台日本車体

地域の観光活性化支援



ふくいヒトモノデザイン株式会社

当行グループの地域ネットワークを活用し
福井県内の観光地や地域資源をつなぎ
地域の観光活性化を支援

ふくいヒトモノデザインプロデュース 『水ようかんサンドクッキー』



JR福井駅
「おみやげ処 福井」
販売金額・販売数ともに

2024年3月



デジタル地域通貨の導入によるDX化支援 ～ふくいのデジタル～



- ✓ 2022年9月に地域のDX推進によるウェルビーイング向上を目的とし、株式会社福井新聞社と共同で設立。スマートフォンアプリ「ふくアプリ」を提供開始。
- ✓ 各団体・自治体・企業と連携し **DXによる新たな体験価値を提供**

「ふくアプリ」を通じて、福井モデルのウェルビーイング・デジタル社会を実現

福井県の
デジタル地域通貨
「ふくいはいコイン」
「ふくアプリ」から提供



NEW
2024年3月
ふくアプリで
「ふくいMaaS」開始
福井県内鉄道・バスの
経路検索・
デジタルチケットサービス

ふくアプリ
県民利用
5人に1人

利用可能店舗
約4,300
店

県内自治体
事業受託
全17市町

はぴコイン
利用額
約12億円



内閣府より表彰

■「Digi田(デジでん)甲子園2023」でベスト4



■令和5年度地方創生に資する金融機関等の
「特徴的な取組事例」



「本業(預金、融資、為替業務)」から それらを含む「課題解決業」へ

コアカスタマー化戦略

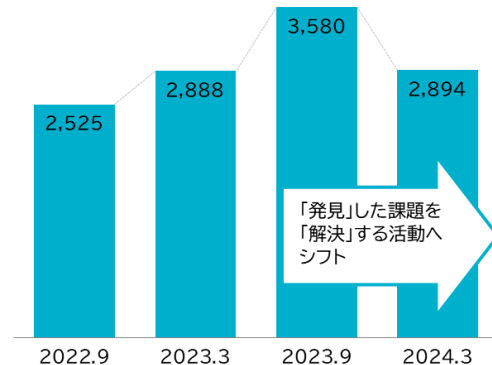
- 1)お客さまの「ありたい姿(夢)」と「真の課題」を共有
- 2)「解決」に向けてグループ体での「**伴走支援(金融・非金融)**」を、お客さまのステージに応じてスピーディーかつ継続的に提供
- 3)お客さまからいただく感謝と信頼を**付加価値対価(値決め)**の強化へつなげる



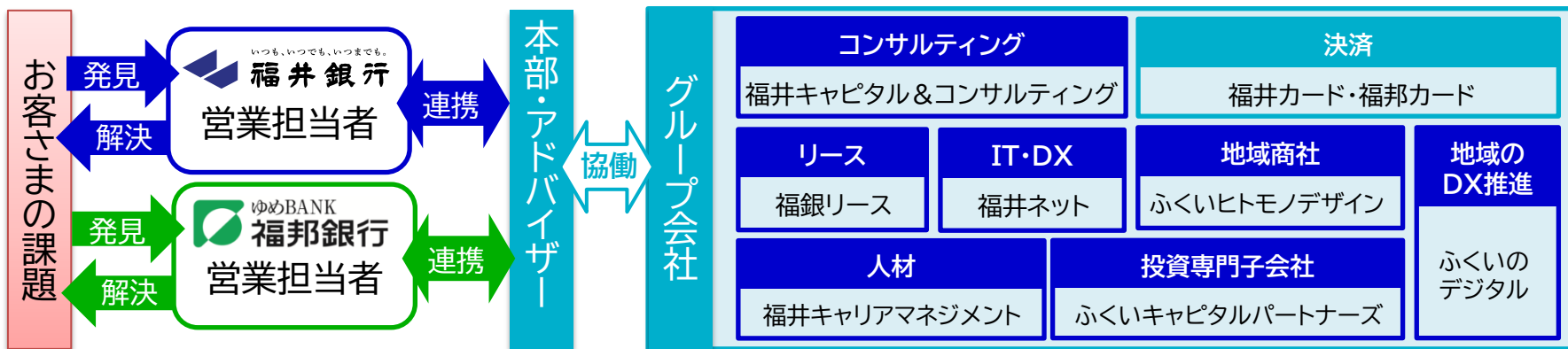
課題「発見」コンサルティング件数

2023年度下期実績
(2行合算)

2,894件



グループ会社の機能を結集させ 地域とお客さまの課題「解決」へ



KPI 中小企業向け貸出残高

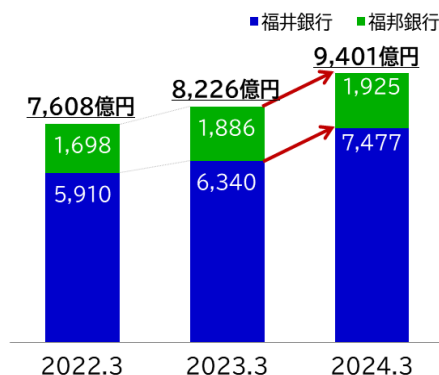
※個人向け貸出を除く

(2行合算)

9,401億円

前年度比

+1,175億円↑



法人コンサルティング収益(※1)

+グループ会社売上高(※2)

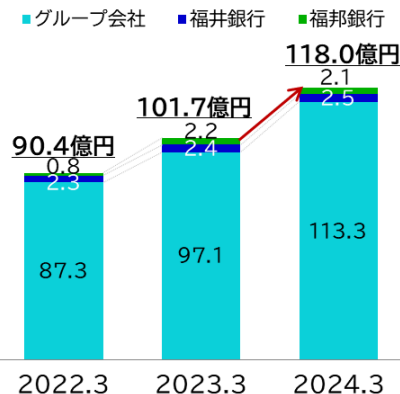
(2行合算)

118.0億円

前年度比

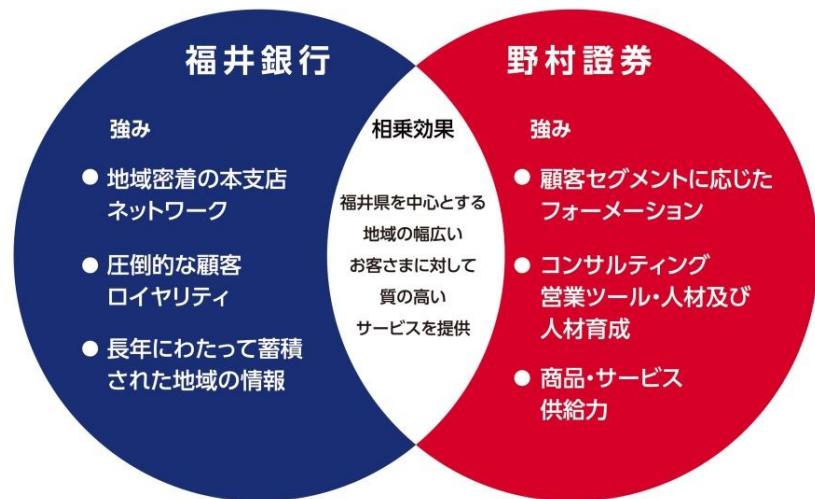
+16.2億円↑

※1福井銀行単体および福邦銀行単体合算
※2グループ間の業務委託料等を除く売上高
(福井信用保証サービスを除く)

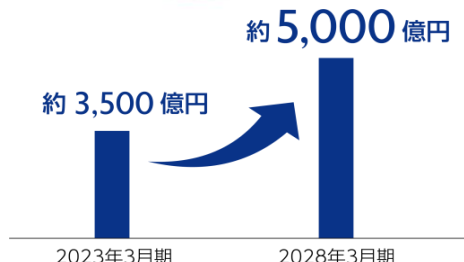


スローガン ～ 福井の未来に、金融の力を。～

金融商品仲介業務における包括的業務提携

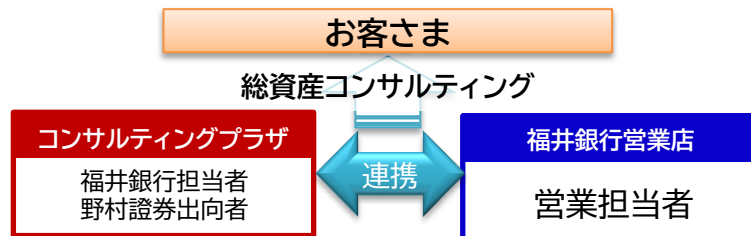


2028年3月期までに
両社合計の預り資産残高を
5,000億円に



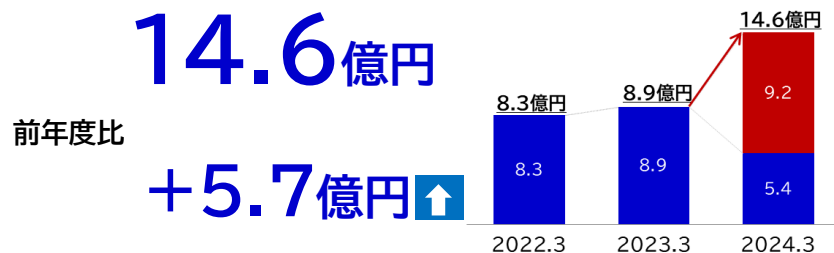
2023年5月 アライアンス業務スタート

- ✓ 2023年5月15日 野村證券より約50名の出向者を受け入れ 福井県内4か所で専門拠点(コンサルティングプラザ)営業開始
- ✓ コンサルティングプラザと福井銀行営業店が連携し 「総資産コンサルティング」を展開中



アセットコンサルティング手数料推移

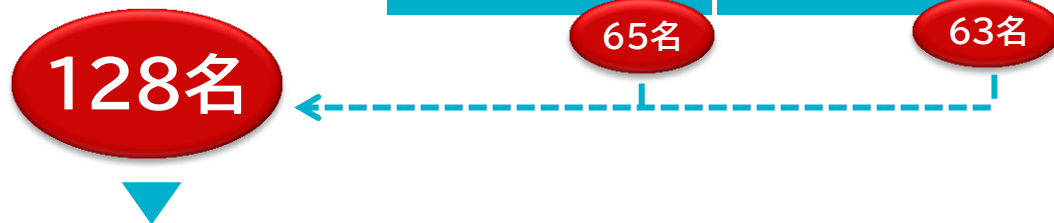
※福井銀行単体



BinBおよび本部機能統合による人員再配置

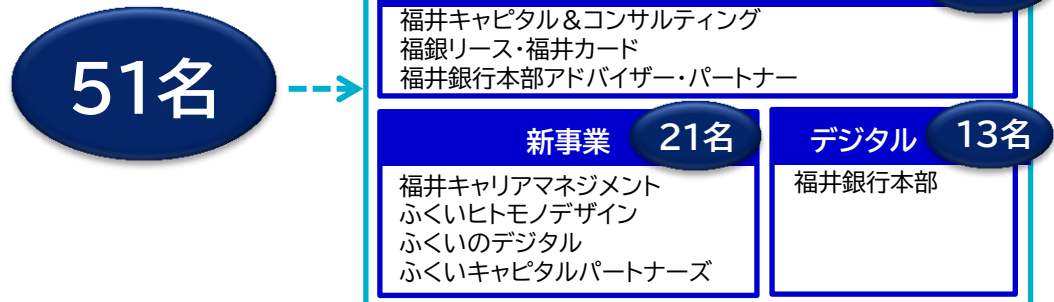
BinBおよび本部機能統合による人員創出

※2022年4月～2024年3月累計

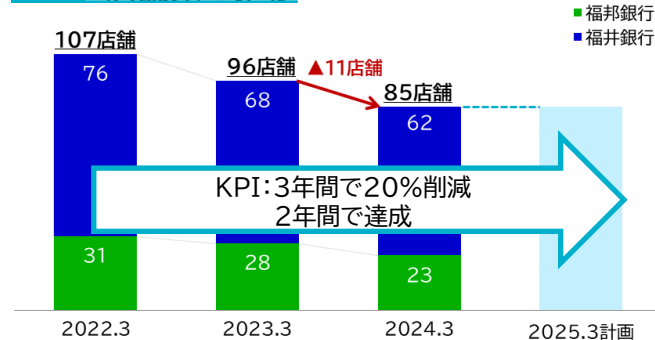


戦略的な人員再配置(純増)

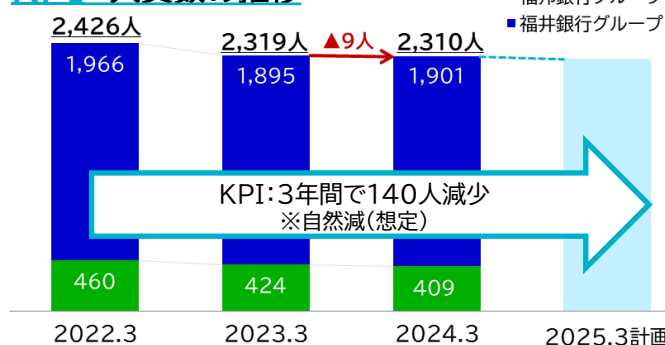
※2022年4月～2024年3月累計



KPI 店舗数の推移



KPI 人員数の推移



デジタルを活用した金融インフラサービスの利便性向上

お客さまのニーズに対して、ヒト(対面チャネル)とデジタル(非対面チャネル)を組み合わせ、お客さまの利便性を向上。



New

福井銀行アプリ・セブン銀行ATMの機能拡充！

- ・通帳・キャッシュカード・印鑑の「紛失・盗難」「発見」「再発行・Web口座切替」
- ・住所・電話番号・勤務先の変更
- ・住所・電話番号の変更

全国設置台数約**27,000**台の
セブン銀行ATMでお手続きできます！

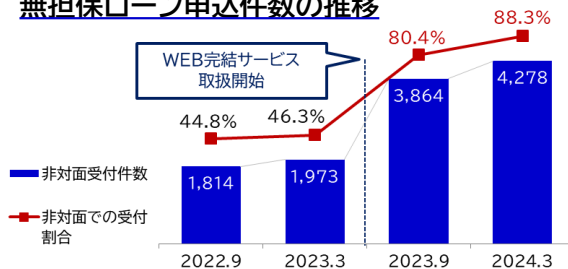


【福井銀行】無担保ローンWEB完結サービス

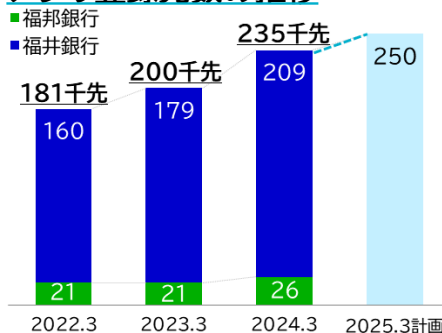
✓ 2023年5月より無担保ローンのWEB完結サービスの取扱開始

申込みから契約まで
来店不要

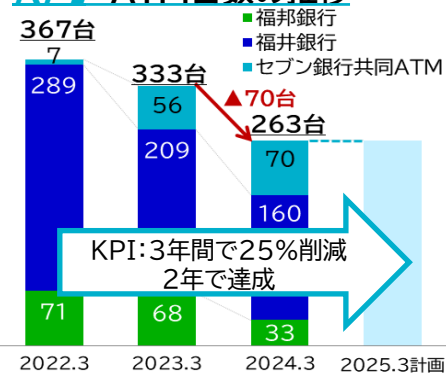
無担保ローン申込件数の推移



KPI インターネットバンキング・アプリ登録先数の推移



KPI ATM台数の推移



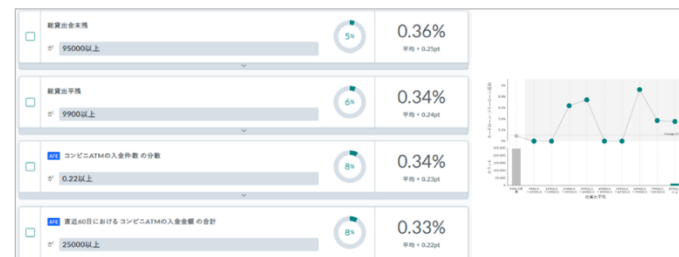
KPI:3年間で25%削減
2年で達成

STEP1 データ分析プラットフォーム「KI」の活用 > 浸透とタレントの発掘

- ✓ データ利活用の社内浸透を目的に 2023年4月よりキーエンス社のデータ分析プラットフォーム「KI」導入
- ✓ 組織横断型(本部計8グループが参加)のワーキンググループを組成
「データに基づき意思決定できる能力の育成」を合言葉に、参加メンバーは様々なジャンルより自ら選定したテーマに対して「データ収集 → データ分析 → 施策実行」のPDCAサイクルを実践
※テーマ:チャネル分析、360度評価アンケート分析、住宅ローン先の取引状況分析 …等々
- ✓ ワーキンググループ取組みから意欲とスキルの高い人材が出現
これらのタレントを軸に、組織的成果も期待できるテーマに対して分析を継続し施策へも反映
※テーマ:店頭取引分析、カードローンターゲットティング、営業活動の見える化 …等々



～店頭取引の要因ツリー分析(例)～



～カードローンターゲットティングのAFE分析(例)～

STEP2 予測AI: 開発の内製化 > アジャイルな開発・活用を目指して

- ✓ 将来的なデータ利活用への準備として数年前からデータを整備・蓄積、各種データを過去分に遡って速やかに抽出できる体制を一定整備 (予測AIの開発には大量の学習データが必要 アジャイル開発へのアドバンテージに)

- ✓ フィンクロス・デジタル社と共同で各種予測AI※を開発
※来店客数予測AI、預金・貸出金残高予測AI、デフォルト予測AI …等々



～来店客数予測AIを活用した来店客数予想カレンダー(例)～

- ✓ データ分析スキルの高い人材(※前頁説明)を予測AIの開発プロジェクトに投入し
共同開発で得られたノウハウやデータ抽出体制を柔軟かつ高度に活用中

- ✓ 高い次元でよりアジャイルに予測AIを開発すべく 次段階として内製化(自社での開発・運用)体制を整備中

STEP3 生成AI: 専用環境の導入 > 生産性向上と付加価値創造へ

- ✓ 「金融機関は生成AIの活用により生産性を大きく向上できる」との仮説から
2023年5月頃よりツールの試行・検討を開始
- ✓ 「専用環境での活用が最も有効」との検討結果に基づき、Microsoft社「AzureOpenAIサービス」を使った福井銀行専用生成AIツール「Asis-AI」を構築し、2024年3月より本部での試行運用を開始
(※専用環境を構築しているのは金融機関でも少数)
高い情報セキュリティが確保された専用環境を社内ネットワークとつなげ
インプットに社内情報を利用しアウトプットを業務に直結させるなどシームレスな運用を可能に
- ✓ 本部での試行運用では アイディア出し、文章作成、翻訳、プログラミングコード作成などに活用
今後は営業店業務の生産性向上や各種サービスの質の向上(付加価値創造)への活用段階に

STEP4 情報発信 > 注目される存在へ

- ✓ FIT展(金融国際情報技術展)での講演やマスコミ向け紹介に積極対応
- ✓ 現在、他金融機関はもちろん、異業種や地元有力企業からの事例紹介依頼も増加
- ✓ ビックデータを有する銀行は、データ利活用で得られる効果は高い
今後も課題やニーズをアジャイルに解決できるデータ利活用の体制を整備し
取り組みを発信していくことで、地域のDXを牽引する存在をめざしたい



～FIT2023東京での講演～

中期経営計画 I KPI進捗状況

項 目	KPI	2024年3月期(実績)	2025年3月期(計画)
結 果	中小企業向け貸出残高 ※1	9,401億円	8,000億円
	観光・まちづくり関連支援件数 ※2	340件	300件
	SDGs・脱炭素関連支援件数 ※2	441件	500件
	店舗数	△20%	△20%
	ATM台数	△28%	△25%
	地域への人財供給(自然減) ※2	116名	140名
行 動	インターネットバンキング・アプリ登録先数 ※1	23万件	25万件
体 制	戦略分野への人財配置 ※3	+51名	+60名
	コンサルティング人財投資	+57百万円/年	+100百万円/年
	デジタル投資	+534百万円/年	+500百万円/年

注 1) 表中の+△表記はすべて2022年3月末比
 2) ※1:2025年3月末時点 ※2:(計画)は2022年4月～2025年3月末での累計、(実績)は2022年4月～2024年3月末での累計
 ※3:コンサルティング・デジタル及び新規事業分野への人財配置

3. サステナビリティへの 取組み

- ※1 取組みについて主なものを抜粋しお伝えいたします
- ※2 2024年7月発刊予定の統合報告書「FUKUI BANK REPORT 2024」においてより全体的な開示を行います

*F*プロジェクト
Future for Fukui &
Fukuibank & Fukuobank



いつも、いつでも、いつまでも。
福井銀行



ゆめBANK
福邦銀行

サステナビリティに関する重要課題(マテリアリティ)

✓ 持続可能な地域社会の実現に向け サステナビリティに関する重要課題(マテリアリティ)を定め 具体的な取組みを実施

重要課題(マテリアリティ)	具体的な取組み	関連するSDGs
E 	TCFDへの対応	 
	環境保全の強化	  
S 	ウェルビーイングの実現 ▶ 本資料「中期経営計画 I の取組み」17頁に関連記載	    
	事業成長や資産形成の実現 活力にあふれた地域の実現 ▶ 本資料「中期経営計画 I の取組み」18～24頁に関連記載	  
G 	Fプロジェクトの推進 ▶ 別添資料「福井銀行と福邦銀行の経営統合について(株式交換契約の締結に関するお知らせ)」および「経営統合による地域価値と企業価値の向上に向けて」をご参照	

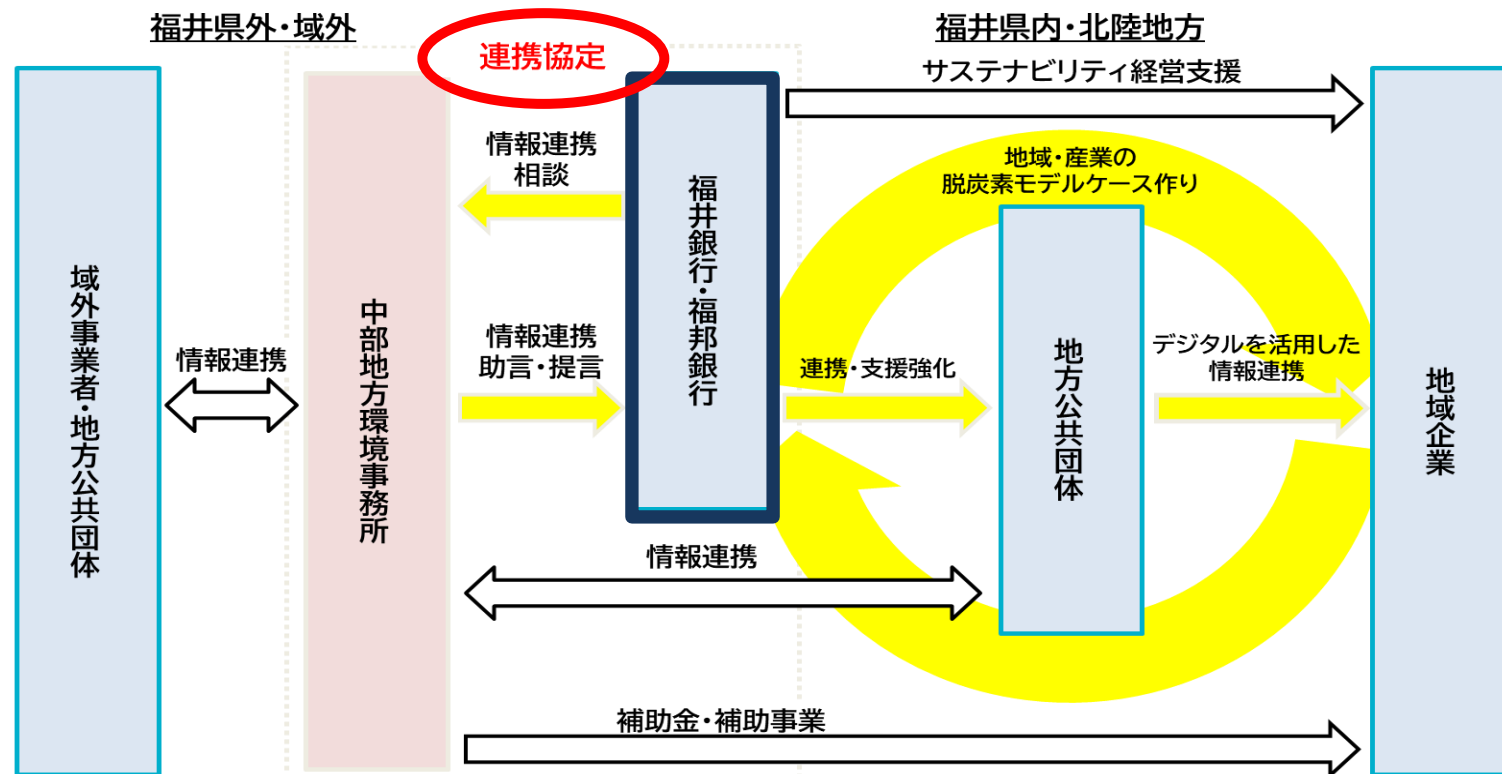
サステナビリティへの取り組み

活力にあふれた地域の実現

事業成長や資産形成の実現



- ✓ サステナビリティへの取り組みは地域全体をいかに巻き込んでいくにかかっています
- ✓ 環境省中部環境事務所との連携協定を軸に「金融」「地方行政」「環境行政」連携した支援の枠組みをひろげていきます



- ✓ 福井県内自治体等とそれぞれの地域課題解決にあった連携をスタートさせています



✓ お客さまへの支援を段階的に進めながら 自社においても順次取り組みを進めています

お客さまの脱炭素支援

✓ 各ステップに応じたソリューションを提供



FプロジェクトのCO₂削減への取り組み



- ✓ 2024年5月13日に福井銀行春江支店を新築移転。一次エネルギー消費量を75%削減する「Nearly ZEB (ニアリー・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」建築を採用
- ✓ 営業車として電気自動車を導入(金沢支店・春江支店)

<ふくぎん>サステナブルローンの取扱開始

<ふくぎん>グリーンローン

<ふくぎん>サステナビリティ・リンク・ローン

✓ お客さまのカーボンニュートラルやSDGs・ESGへの取り組みを資金面からサポート

Fプロジェクトによる脱炭素支援件数

2022年4月～
2024年3月累計
(2行合算)

441件



▶ 中期経営計画 I の取り組み17頁に関連記載がございます。

ダイバーシティ＆インクルージョン(D&I)の推進

多様な人財がチャレンジできる環境を創出し、職員一人ひとりの能力の発揮を通して組織力の最大化を目指しています



- 福井県初の女性副知事 鷲頭氏を招いて交流会を開催

福井銀行が開いた交流会で講演する鷲頭副知事
＝14日、福井市の同本店



経済の男女格差 打開策は
福井銀 鷲頭副知事招き交流会

福井銀行（本店福井市）は14日、鷲頭副知事と同行員、県内の女性管理職との交流を本店で開いた。福井県は2024年の「都道府県別ジェンダー・ギャップ指数」で経済分野が全国37位と低値であり、現状を分析し打開策を考えた。仕事と育児の両立に取り組む鷲頭副知事は「仕事もプライベートも楽しむために」をテーマに講演。福井の女性は管理職への昇進意欲は高いものの、実

【指標と目標】

指標	定義	目標	2023年度実績
総労働時間削減率	2021年度実績と比較した総労働時間の削減率 (正規雇用労働者+嘱託契約労働者)	2024年度までに 6.0%以上削減	2.8%削減
管理職多様性比率	管理職※に占める以下の項目の多様性比率 ①性 ②国籍 ③年齢 ④勤務年数 ⑤中途採用者	2024年度までに 30.0%以上	32.0%

※労働基準法上の管理監督者に加え、管理監督者の一つ手前の職階である代理職を含める



サステナビリティへの取り組み

ウェルビーイングの実現



✓ 17頁に記載の「双方向の対話」など、取り組みの具体的な内容は次のとおり

1on1ミーティングの実施	職員一人ひとりの成長をサポートし、職員が安心して働くことができる組織風土を醸成するため、上司と部下が毎月対話する1on1ミーティングを導入しました。1on1ミーティングでは上司が部下の相談に乗り、アドバイスしたり一緒に解決策を考えたりすることで成長をサポートします。
タウンホールミーティング	経営陣と職員が直接対話を行う場として、タウンホールミーティングを実施しています。直接対話を行うことで、経営陣と職員が双方向にコミュニケーションを行い、当行グループの理念・方針の理解・浸透を図っています。
キャリア研修	これまでの自身の経験を振り返り、自分の強みや課題を明確にしたうえで、なりたい姿を目指すために今後どのようなスキルが必要か、どのように行動していくかについて、人生における自己実現も含めて具体的なプランを描くために、キャリア研修を行っています。
アンコンシャスバイアス研修	ダイバーシティ&インクルージョンを進めていくため、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）についての研修を実施しています。属性などに対するアンコンシャスバイアスに気づき、職員一人ひとりが個人に向き合い、お互いに尊重し合うための意識改革を目指します。
はせチャンネル	頭取の考え方や仕事への向きあい方を理解し、前向きに取り組むヒントや気付きを得て、職員の活力向上に繋げることが目的。 職員の悩み・モヤモヤ・質問に頭取が答える動画『お仕事モヤモヤ相談室』をeラーニングシステム「Fスタ」で配信中。
出産サポート休暇の新設、育児休業制度の拡充	不妊治療等の出産に関わる出来事と仕事を両立しやすい職場環境を実現するため、出産サポート休暇を新設しました。北陸3県ではじめて「プラチナくるみんプラス」認定を取得しました。また、出生時育児休業を新設し、男性が育児休業をとりやすい環境を整備しています。

▶タウンホールミーティング



▶はせチャンネル



プラチナくるみん
プラス
認定取得



育児取得率
男女とも

100%



2023年4月～
2024年3月
対象者

- 事前に株式会社福井銀行の許可を得ることなく本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止します。
- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。また、本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社福井銀行

経営管理グループ(担当:北出)

TEL:0776-25-8012